

★中根式速記協会の主な活動歴

[令和7年6月現在]

- 大正 3年：中根式速記法を創案（中根正親）し、新聞に発表
4年：弟の中根正雄が大成し、「速記を国字に」という意志のもと、普及活動に着手。（平成5年までの講演回数は、1万数千回）
- 昭和 2年：新日本速記学会を設立
「通俗中根式速記」を有斐閣書房より出版
（翌年、天皇・皇后陛下にも献上）
3年：大阪中央放送局のラジオ放送で、2週間にわたり速記講座を開設
4年：中根速記協会と改称
東京に中根速記学院を開校
（翌年、中根速記学校と改称、東京府〔現：東京都〕公認となる）
6年：第1回目の全国速記競技大会を開催
（全国男子中等学校中根式速記競技大会）
（名称を何度か変更し、現在は全国高等学校速記競技大会として開催。昭和27年から文部省後援となり、平成13年からは文部科学省後援、現在に至る）
29年：NHKテレビにて速記講座を放送
33年：中根式速記協会と改称、現在に至る
ひらかなとカタカナを活用した即席速記法を発表
（後に簡易速記法、スピードメモ法と名称を変更）
44年：第1回全国高等学校選抜速記競技大会を開催
（第3回から文部省後援）
48年：速記マスターノート（上巻・下巻）を出版
59年：「スピードメモ法」を光文社から出版
（以上の2冊は、後継の中根康雄著）
60年：「速書き健康のすすめ」という活動を開始し、各地で大会を開催
特に、「全国老人ホーム・高齢者センター対抗、速書き健康大会」を、NTTの協力のもとに開催
61年：NHKの「お達者くらぶ」に出演し、紹介された

昭和 63年：「情報速メモ術」をダイヤモンド社から出版

平成 9年：「速書き健康術」をシグマベイスキャピタル社から出版

17年：「絶妙な速メモの技術」を明日香出版社から出版

(以上の3冊は、後継の中根康雄著)

26年：中根式速記発表100周年記念として、各地で「聞き書き“脳ピカ”健康大会」を開催

令和 7年：第57回全国高等学校選抜速記競技大会を開催

第95回全国高等学校速記競技大会を8月に開催予定